

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2007-263680(P2007-263680A)

【公開日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-039

【出願番号】特願2006-87954(P2006-87954)

【国際特許分類】

G 01 M	7/02	(2006.01)
H 02 K	33/00	(2006.01)

【F I】

G 01 M	7/00	G
H 02 K	33/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月21日(2007.9.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

駆動部を支持する固定部に上記駆動部が駆動することで加振力が発生し上記加振力にともないトルクを発生させるトルク加振装置において、

回転軸を中心に対称に回動する上記駆動部と、上記駆動部を回動可能な状態にて支持する上記固定部と、上記回転軸を挟んで対称となる上記駆動部および上記固定部のそれぞれの箇所に配設された第1の発生部および第2の発生部と、上記第1および第2の発生部に電流を供給する電源部とを有し、

上記第1の発生部および上記第2の発生部に、上記回転軸において互いに相反する方向かつ同一の大きさの電磁力を発生させて上記駆動部を駆動させてトルク加振することを特徴とするトルク加振装置。

【請求項2】

上記固定部に対する上記駆動部の支持を、上記回転軸のまわりの剛性が上記回転軸以外の他の軸のまわりの剛性より低く回転可能に支持したことを特徴とする請求項1に記載のトルク加振装置。

【請求項3】

上記第1および第2の発生部の固定部側または駆動部側が、一定方向回りの磁束を形成する第1および第2の励磁用磁石部にて構成され、上記第1および第2の発生部の駆動部側または固定部側が、上記第1および第2の励磁用磁石部にて形成される磁束とそれぞれ交差するように配設された第1および第2のコイル部にて構成されるとともに上記電源部から所望の周波数の電流が供給され、上記第1の励磁用磁石部と上記第1のコイル部との間、および、上記第2の励磁用磁石部と上記第2のコイル部との間にはローレンツ力がそれぞれ生じることを特徴とする請求項1または請求項2に記載のトルク加振装置。

【請求項4】

上記第1および第2の発生部の固定部側は、第1および第2のコイル部と、第3および第4のコイル部とにて構成されるとともに上記電源部から所望の周期的な電流が供給され、上記第1および第2のコイル部と上記第1の発生部の駆動部側との間、および、上記第3および第4のコイル部と上記第2の発生部の駆動部側との間にはそれぞれ磁気吸引力が生

じることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載のトルク加振装置。

【請求項 5】

上記加振力の大きさおよび上記加振力の方向を検知する加振力検知センサを備えたことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載のトルク加振装置。